

「次世代シーケンサーを用いた結核菌迅速薬剤耐性予測法の開発」に
関係する患者さま、ご家族の皆様へ

当院では「次世代シーケンサーを用いた結核菌迅速薬剤耐性予測法の開発」との研究を行っています。結核は今なお世界最大の感染症の一つで、わが国でも毎年1万人以上の新たな患者さんが発生しています。結核菌の発育は遅く、生えてくるまでに2-4週間を要するため、薬が有効かどうかを調べる薬剤感受性試験にも1ヶ月以上を要し、特に薬が効かない耐性結核診断の遅れ、適切な治療開始の遅れにつながることで問題となっています。本研究では、次世代シーケンサーという機械を用いて結核菌の遺伝子を調べることにより迅速に薬剤耐性を検出できる、Deeplex法という方法の検討を行います。この方法が実用化されれば、喀痰を採取してから数日以内に薬剤感受性を知ることが期待できます。

そのために、当院で結核と診断された患者さんから分離され臨床検査科に保存されている結核菌株を用いて、この方法による薬剤感受性検査を行い、従来の方法での結果との相関を検討することを目的にしています。

[調査の対象となる患者さま]

当院で結核として診療を行い、喀痰などの臨床検体から分離された結核菌株が当院の検査室に保存されている患者さまが対象となります。

[調査方法]

患者さまのカルテ等の記録をもとに調査を行い、保存されている菌株の検査を行います。本調査では、患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

[患者さまのプライバシーに関して]

プライバシー・個人情報厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。また、この研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合も以下までご連絡ください。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180
国立病院機構近畿中央呼吸器センター
臨床研究センター 感染症研究部
露口一成
TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会における厳重な審査・承認を受けて実施しています。